

<日商簿記1級工業簿記ミニテスト14>標準原価計算の基礎

<問題>

当社の大阪工場では製品Xを製造し、標準原価計算制度を採用している。次の資料に基づいて、次の各問に答えなさい。

1. 製品X1個あたりの原価標準

直接材料費 @100円×3kg=300円

)) 300

直接労務費 @500円×2時間=1,000円

)) 1,480

製造間接費 各自推算の事 @240×2=480

)) 1,780

※製造間接費は直接作業時間を配賦基準としており、年間正常直接作業時間は24,000時間、年間予算額は5,760,000円（うち変動費予算額は3,600,000円）である。なお、固定製造間接費は予算と実際額は同額であった。

2. 生産データ

	製品X	
月初仕掛品	300	(50%)
当月投入	800	
合計	1,100	
月末仕掛品	200	(60%)
完成品	900	

300	900
(150)	
800	
(200)	200
870	(120)

( )内の数値は加工進捗度を示す。材料はすべて工程の始点で投入されている。

3. 当月の実際原価

直接材料費 : @110×2,500kg=275,000円

直接労務費 : @480×1,820時間=873,600円

変動製造間接費 : 250,000円 + 180,000

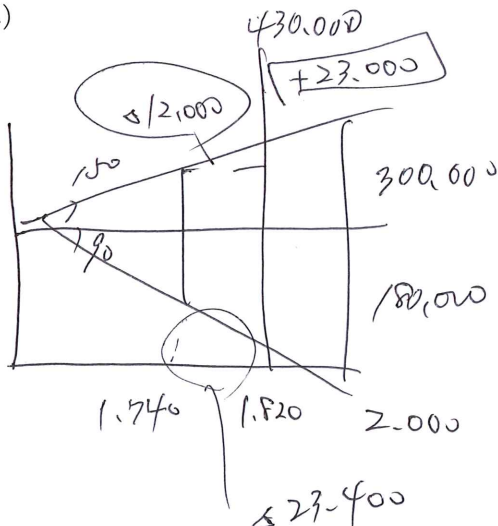
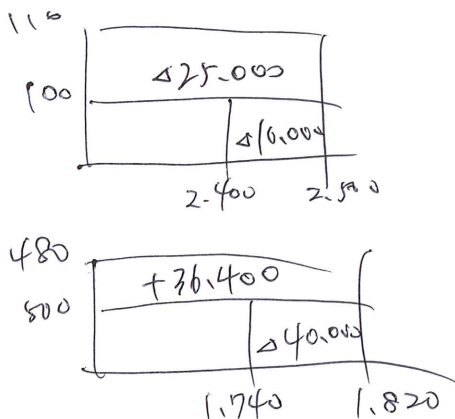
問1

差異分析（能率差異は変動費のみから生じる）を行い、結果を解答欄に記入しなさい。

問2

シングルプラン・修正パーシャルプラン・パーシャルプランにより、仕掛品勘定の記入を行いなさい。

(2級の方はシングルプランとパーシャルプランのみ)



問 1

	総差異	△51,000
△35,000	直接材料費 (価格差異)	△25,000
	直接材料費 (数量差異)	△10,000
△3,600	直接労務費 (賃率差異)	36,400
	直接労務費 (時間差異)	△40,000
△12,400	製造間接費 (予算差異)	23,000
	製造間接費 (能率差異)	△12,000
	製造間接費 (操業度差異)	△23,400

問 2

① シングル・プラン

材 料	
買掛金 275,000	仕掛品 240,000
	差 35,000

仕 掛 品	
前月繰越 212,000	製 品 1,602,000
材 料 240,000	次月繰越 237,600
賃 金 870,000	
製造間接費 417,600	
<del>1,839,600</del>	

賃 金	
諸 口 873,600	仕掛品 870,000
	差 3,600

製 造 間 接 費	
諸 口 470,000	仕掛品 417,600
	原価差異 12,400

② パーシャル・プラン

材 料	
買掛金	仕掛品 275.000
賃 金	
諸 口	仕掛品 873.600
製造間接費	
諸 口	仕掛品 430.000

仕 掛 品	
前月繰越 312.000	製 品 1.602.000
材 料 275.000	次月繰越 237.600
賃 金 873.600	原価差異 51.000
製造間接費 430.000	
1.890.600	1.838.600

③ 修正パーシャル・プラン

材 料	
買掛金 275.000	仕掛品 270.000
	原価差異 25.000
	(1) 仕
賃 金	
諸 口 873.600	仕掛品 910.000
原価差異 36.400	
製造間接費	
諸 口	仕掛品 430.000

仕 掛 品	
前月繰越 312.000	製 品 1.602.000
材 料 270.000	次月繰越 237.600
賃 金 910.000	原価差異 <del>51.000</del> 62.400
製造間接費 430.000	
1.902.000	1.902.000